



今、下水道に何が起きている？

私たちの生活を支える下水道管の老朽化について調べました



埼玉県八潮市での道路の陥没事故では近隣住民は避難したり、下水道の使用を自粛したりしました。

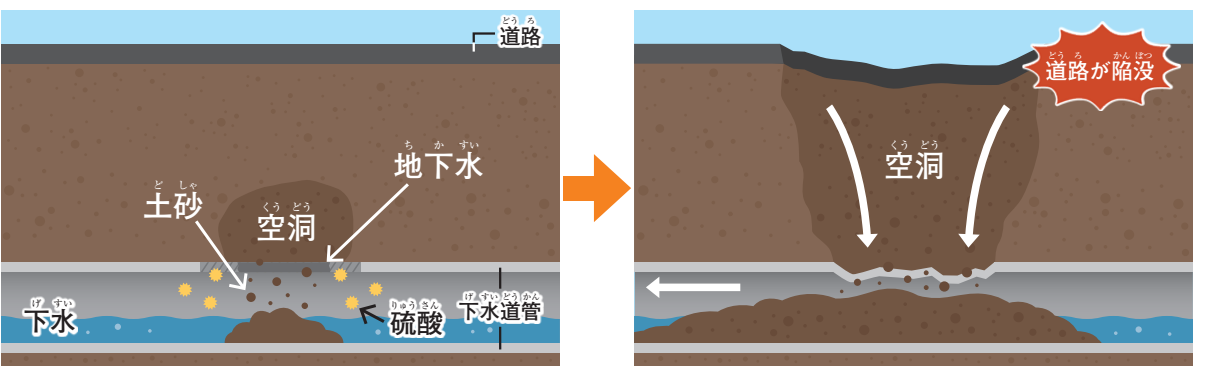
今年1月に埼玉県八潮市で、道路の陥没事故が発生しました。道路下の下水道管が、壊れたことが原因とみられています。下水道管が古くなり、壊れたことで起きる道路の陥没事故は、実は最近頻繁に発生しています。下水道が使えなくなると、お風呂やトイレ、洗濯したりすることでもできなくなります。その原因について調べてみましょう。

下水道管の老朽化が原因で起きる道路の陥没。どんな仕組みで起きるんだろう？ 大きな陥没もあれば、小さな陥没もあって、これは他人事ではなく、みんなが生活する町でも起こりうる問題だよ。



古くなると汚水が流れにくくなり、汚水などから発生した硫化水素が空気に触れることで発生した硫酸が下水道管を溶かします。

下水道管が壊れると道路が陥没する原因はなんだろう？



古くなって、腐食が進んだ下水道管が破損して、そこに土砂や地下水などが流れ込み、小さな空洞ができます。

時間が経つにつれて下水道管と道路の間の空洞が次第に大きくなり、道路の陥没が発生します。

下水道管の寿命は意外と短いから、長く使うためには点検や掃除が必要だよ。

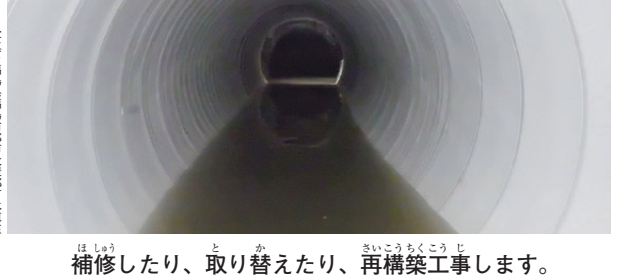
下水道管はコンクリートや塩化ビニール製が多く、問題なく使える目安の「耐用年数」は50年とされています。私たちが生活する街の下に張り巡らされており、毎日の点検は難しいので、その代わりに、定期的に点検や掃除をしています。下水道管の老朽化を防ぐための努力を私たちもすることが大切です。

下水道管の中はどのように調査されているかな？



テレビカメラやドローンによる調査。マンホールを開けて目で見て確認。下水道管の中に実際に入って確認。

下水道管が少しでも長持ちするようにみんなは何ができるかな



補修したり、取り替えたり、再構築工事です。

油類は流さない

お風呂で髪の毛を流さない

ビニール片やつまようじを流さない

他に
もどんなことができるか考えてみよう